

2024年度〔第26期〕決算

2025年5月9日
東日本電信電話株式会社



事業の概況

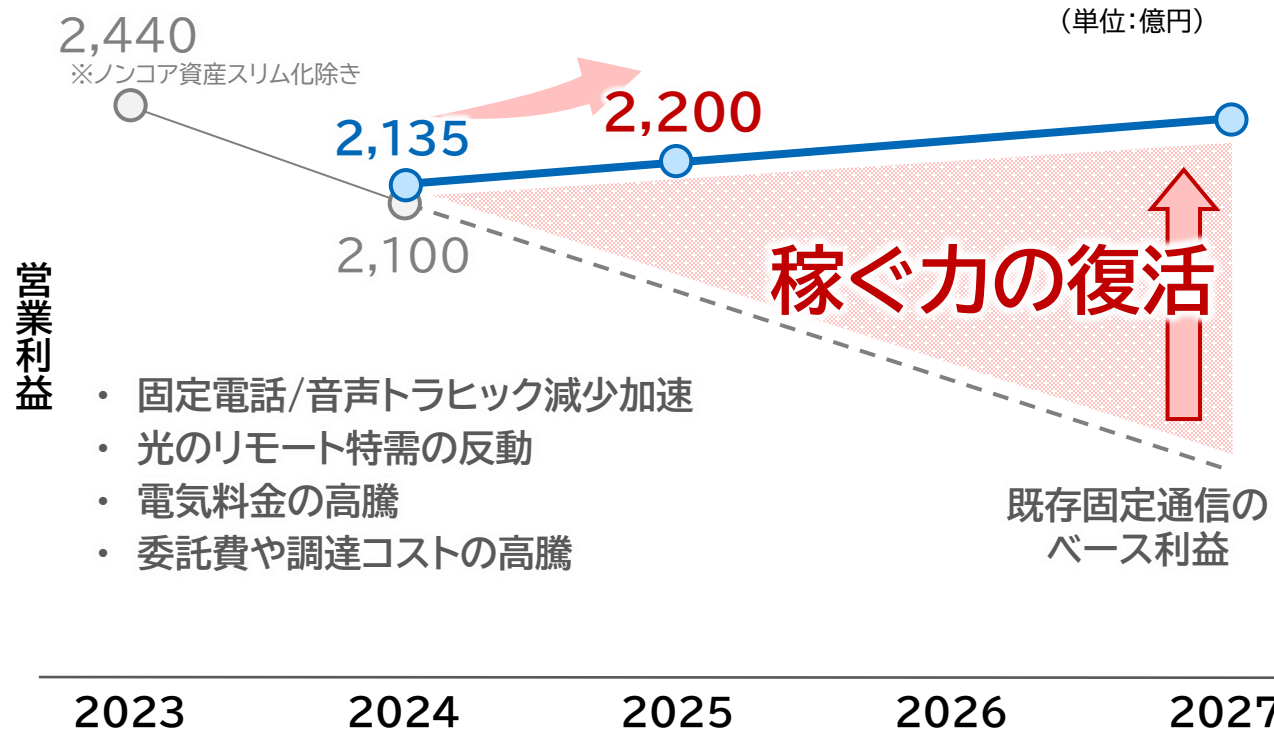
長期安定的に稼げる経営体質への転換

2024～2027年度 新中期事業計画

一度しゃがんで
反転攻勢する年



長期安定的に稼げる
経営体質への転換

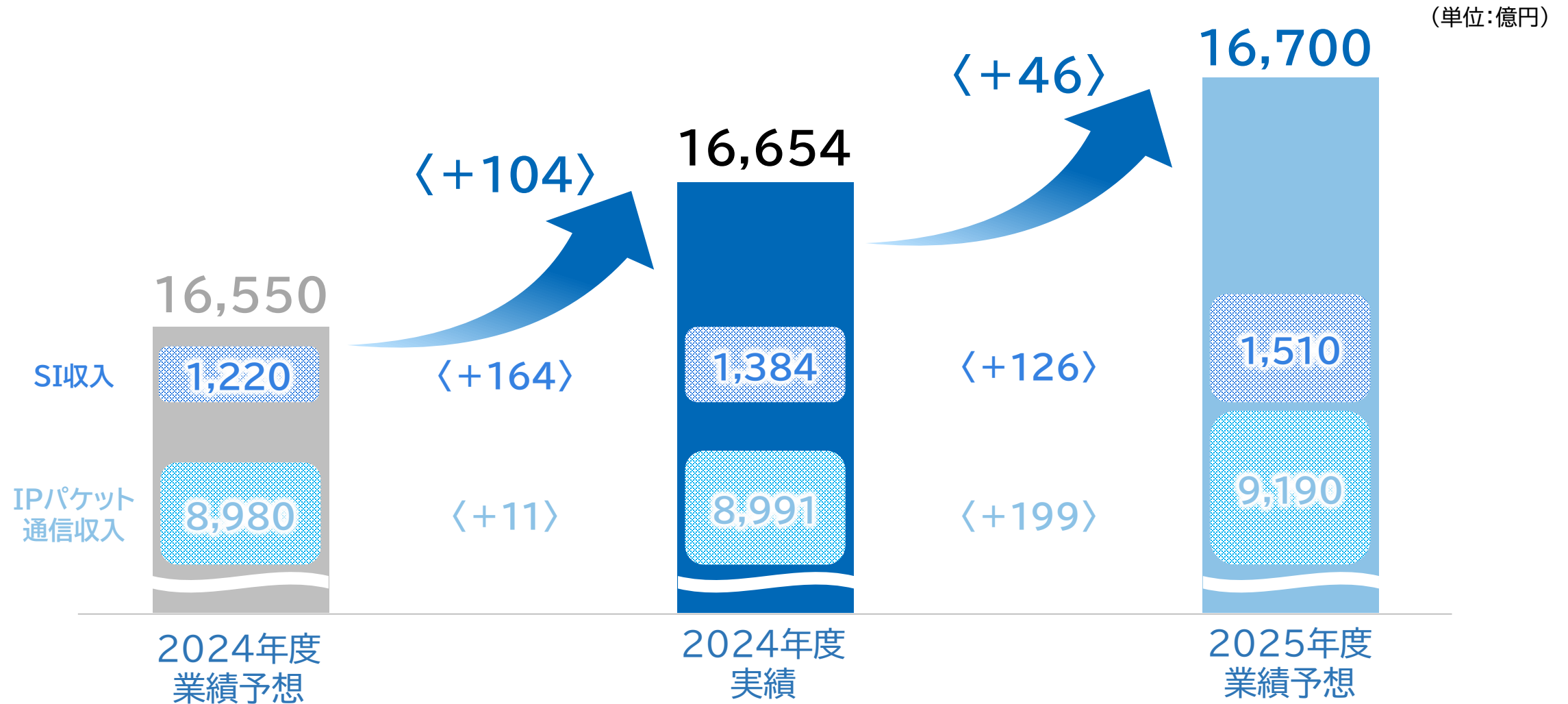


① 光サービスのシェア回復

② 法人ビジネスの成長

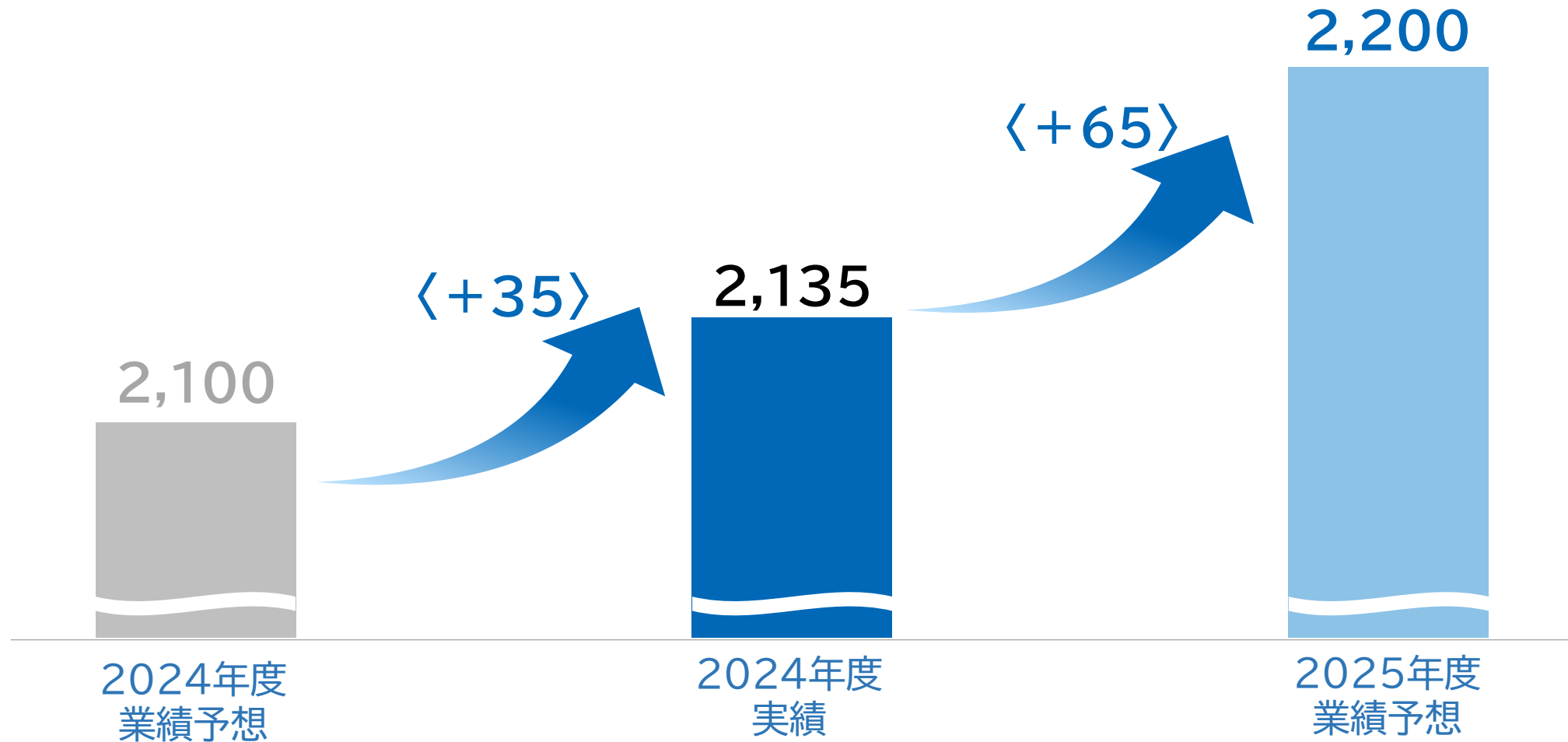
③ 新たなビジネス拡大

営業収益(稼ぐ力の復活)



営業利益(増益転換)

(単位:億円)



(参考)2024年度決算概況と2025年度業績予想

(単位:億円)

項目	2023年度 実績	2024年度 実績	対前年	2025年度 業績予想	対前年
営業収益	17,105 〈16,559※2〉	16,654	▲451 〈+95〉	16,700	+46
営業利益	2,986 〈2,440※2〉	2,135	▲851 〈▲305〉	2,200	+65
当期純利益※1	2,069	1,535	▲534	1,580	+45
EBITDA	4,988	4,268	▲720	4,370	+102
設備投資	2,438	2,516	+78	2,770	+254
光サービス純増数 (末契約数)	+4万 (1,337万契約)	+7万 (1,344万契約)	+3万	+10万 (1,354万契約)	+3万

※1 当社に帰属する当期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

※2 2023年度のノンコア資産スリム化影響除きの数値を記載しております。

マーケット動向と事業戦略

爆発的なデジタル化に伴うNW需要と顧客ニーズ

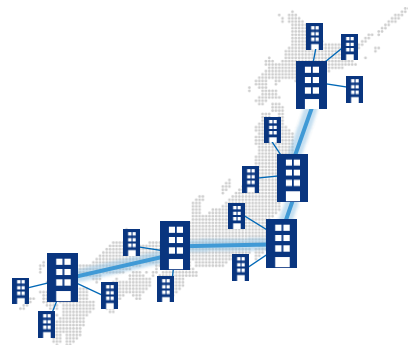
NW需要の高まり

コンシューマー向け



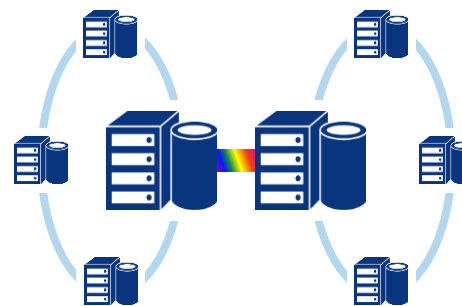
映像サービス・ゲーム
リモートワーク

法人向け



クラウド化・多拠点接続
レジリエンス

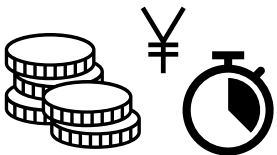
ハイパースケーラー向け



生成AI用の低遅延接続

顧客ニーズの高度化

コスト・対応納期



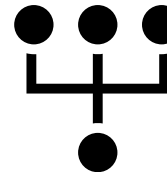
低コストで
タイムリーに対応したい

リモート化とセキュリティ



リモートで柔軟な働き方と
セキュアな環境を両立したい

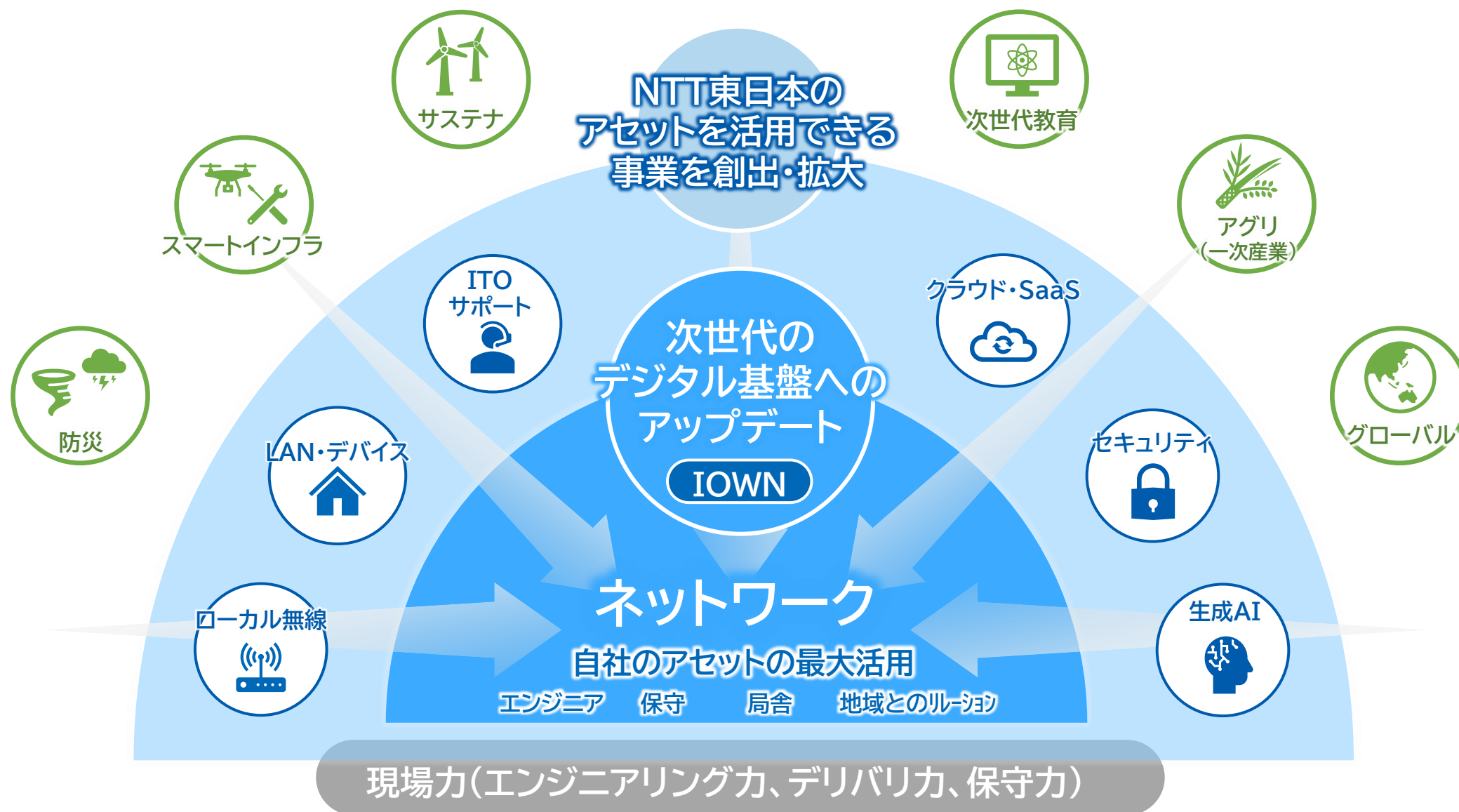
一括・一元対応



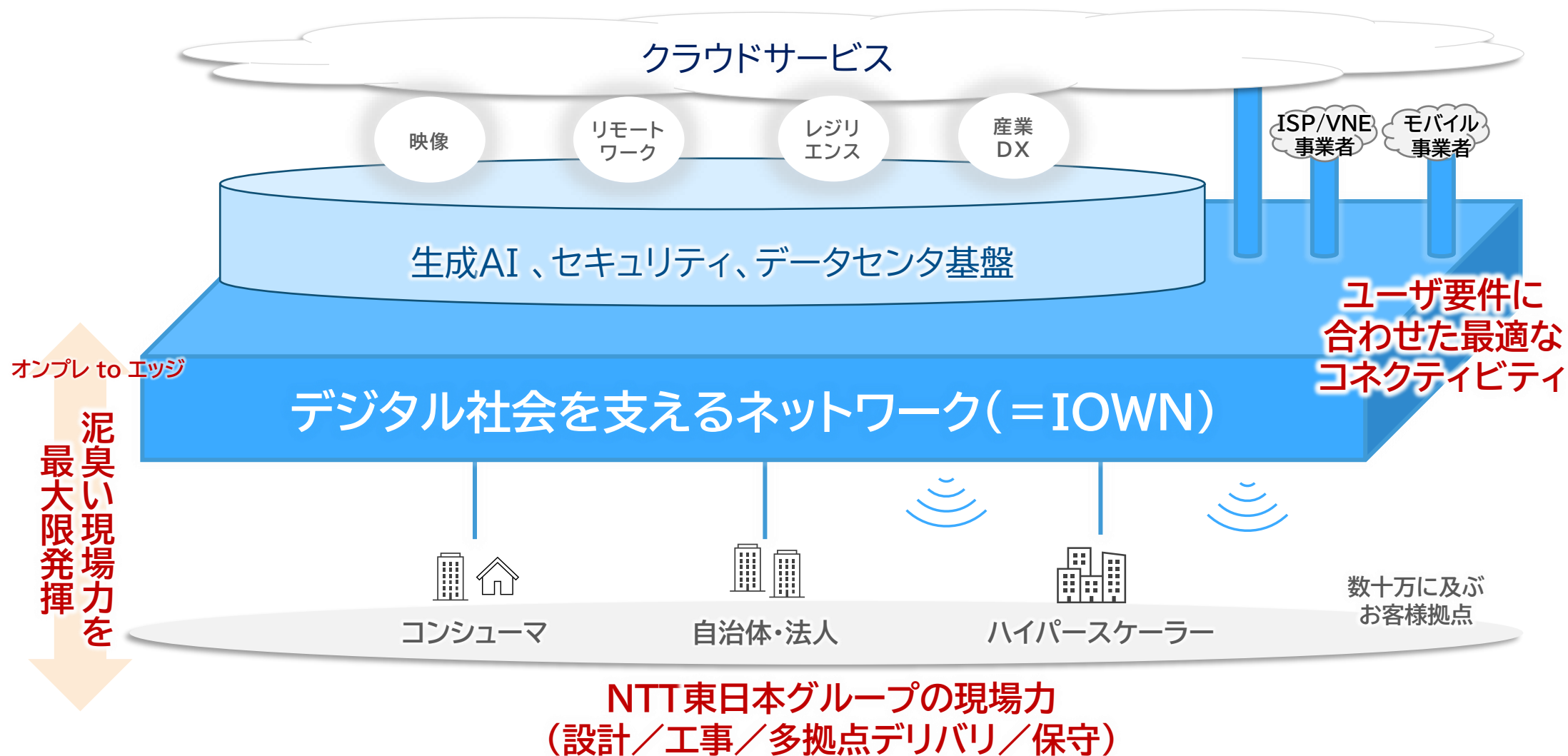
全拠点設計から
調査・構築・配線・保守・監視
一括でプロに任せたい

自社の事業や産業、分野に精通したプロにパートナーとして相談に乗ってほしい

NTT東日本のめざす事業ポートフォリオ

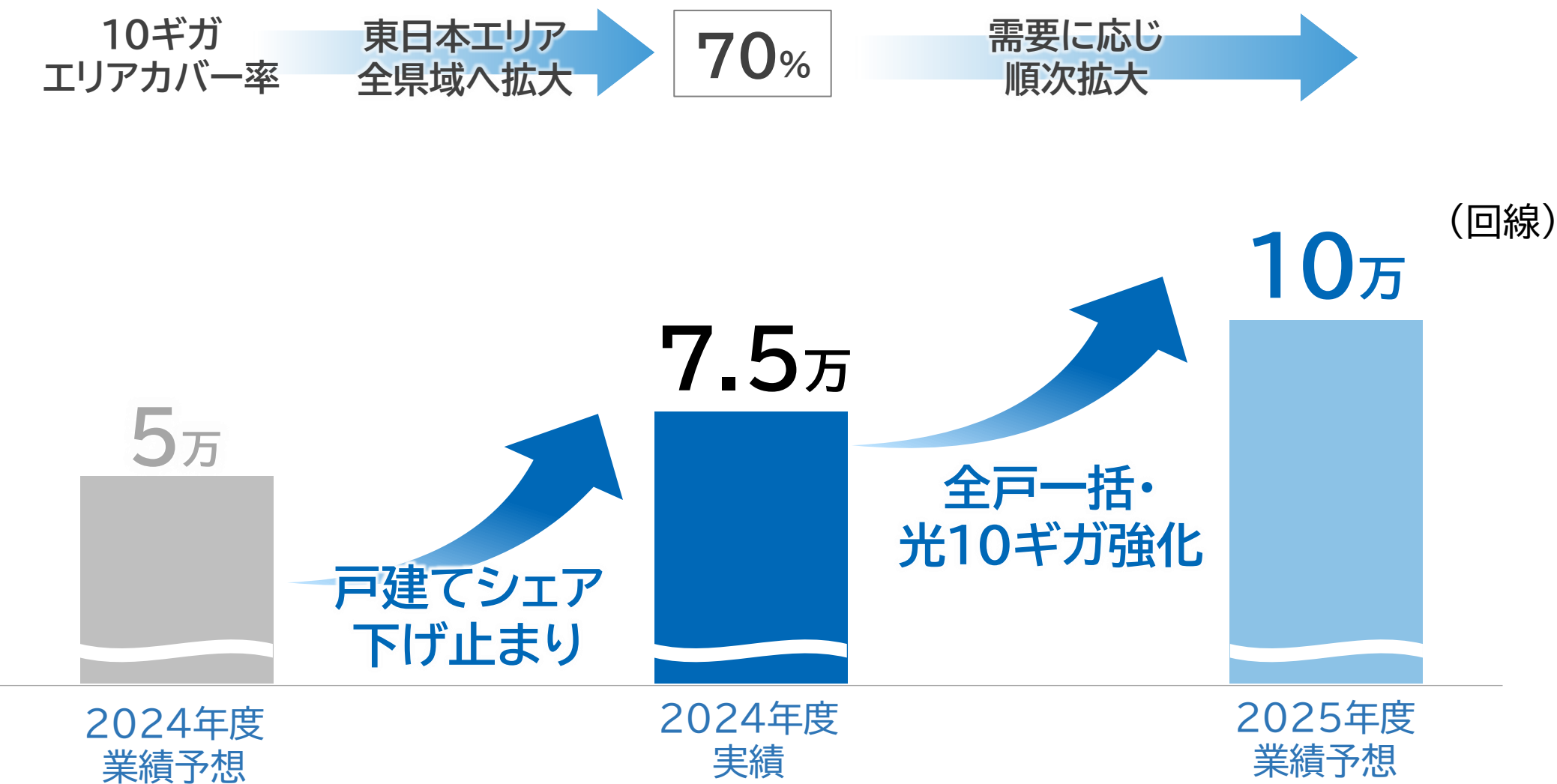


既存アセットを次世代のデジタル基盤にアップデート

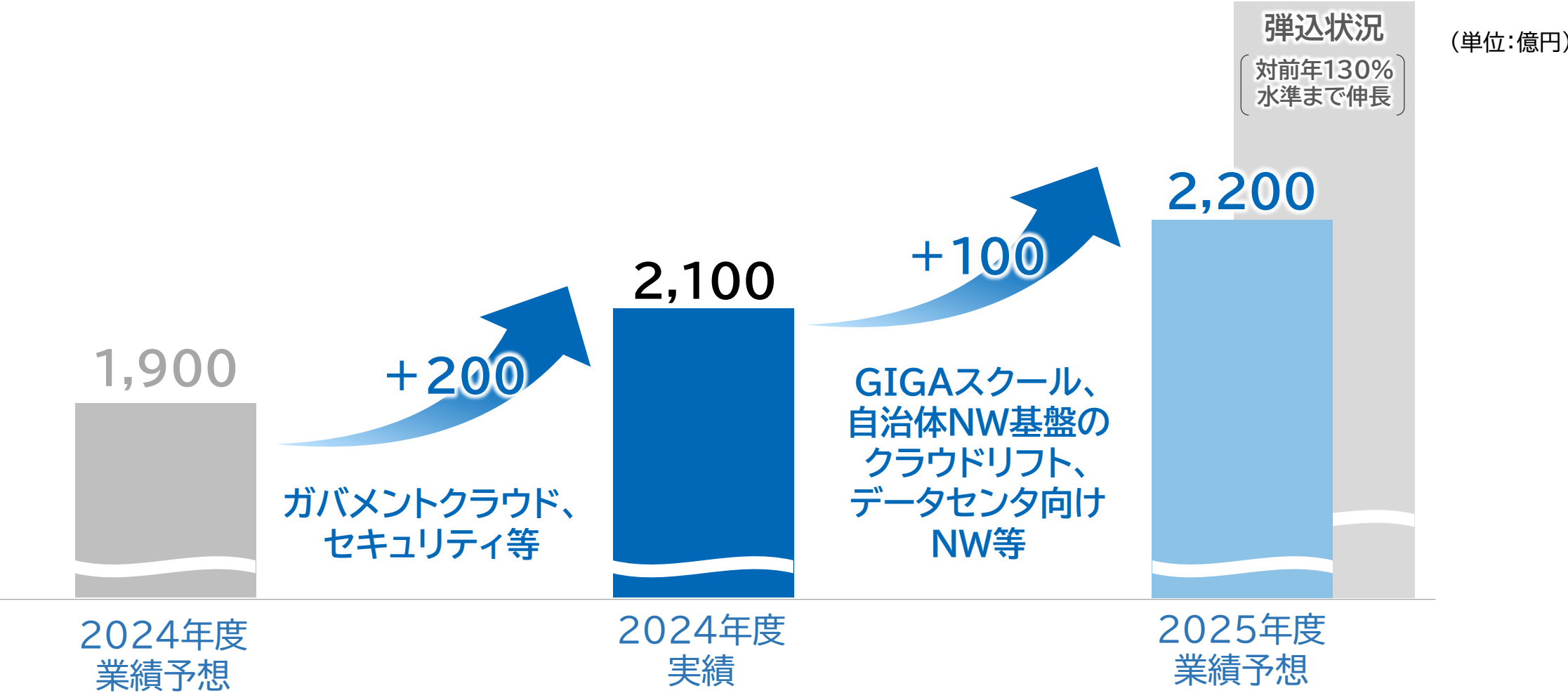


個別事業の状況

光サービス純増



法人ビジネス収入



ビジネスユーザをターゲットにした 高信頼性の光サービスを提供開始予定

① 帯域確保による安定した通信

② SLA（サービス品質保証）

③ 24時間以内 故障駆け付け  業界最高水準！

お客様の業務DXを推進する生成AIサービス

自治体業務の効率化に特化した 生成AIサービスを提供開始

導入準備・
コンサルティング



生成AI基礎研修・
ユースケース創出
ワークショップ



最適なNW環境・
運用ガイドライン策定

生成AIの導入

生成AIサービス

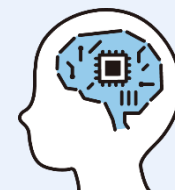
2025年4月9日提供開始

自治体業務を効率化するテンプレートが
実装された「生成AIサービス」を
SaaS型でリーズナブルに提供開始



質問

回答



大規模言語モデル
+ テンプレート

「公職選挙法の問い合わせ回答」

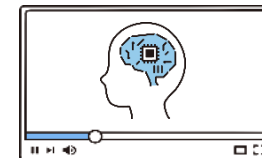
回答⇒解釈⇒条文引用の順に回答し
条文引用は、簡潔に明示する



伴走サポート



利用者サポート
(回答精度向上等)



事例共有会開催

海外におけるFTTHサービス事業

当社のエンジニアリング力を活用し インドネシアのFTTHサービスを拡大

SURGEグループ(Weave社)・NTT東日本のケイパビリティ



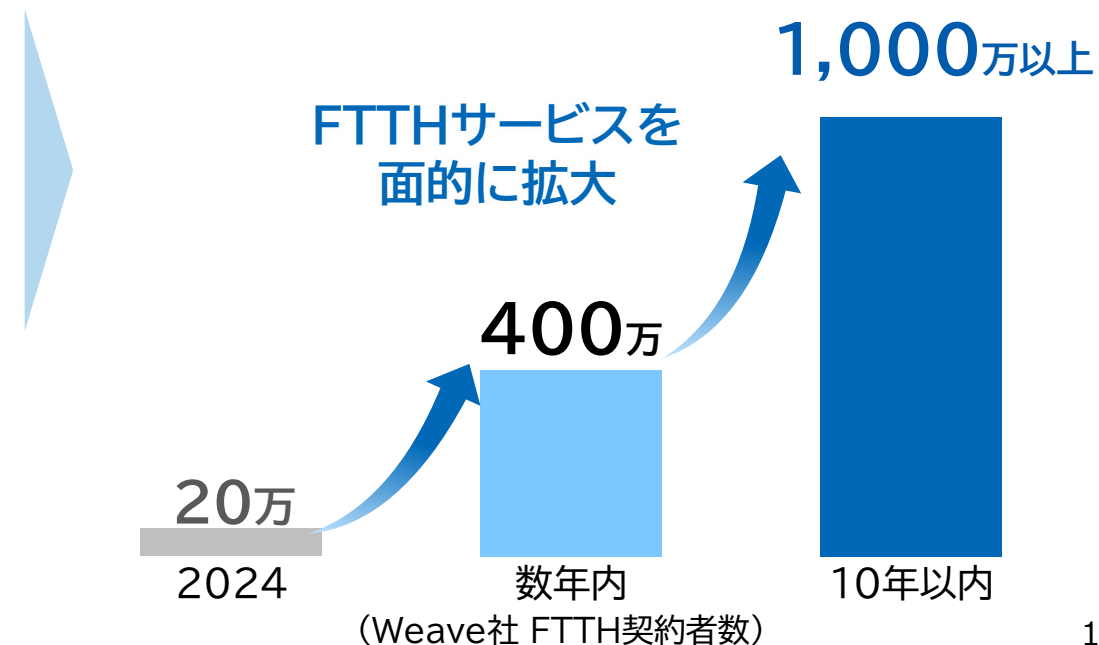
- ・ 鉄道沿線の光中継網 (7,000km) を保有
- ・ 低価格帯FTTHサービス (約1,000円/月)



- ・ FTTH設備の構築・運用・保守のエンジニアリング力
- ・ 大規模インフラ設備運営・管理のオペレーション力

今後の展開

- ✓ FTTH設備の効率的な施工・拡大
- ✓ 運用効率化・保守品質向上



(参考)主なトピック・連携一覧

IOWN		- 世界最高水準となる最大800Gbpsユーザー拠点間帯域保証型通信サービス「All-Photonics Connect」を提供開始(12月) - TBSテレビ等とIOWN APNによる生放送番組「輝く！日本レコード大賞」の音声リモートプロダクションに初めて成功(12月) - 三菱電機(株)とインフラ点検の効率化を目的とするIOWNを活用した3次元点群データ遠隔解析・閲覧の実証に成功(1月) - 弘前大学・(株)メディカロイド・鹿島建設(株)等とIOWN APN接続による離れた病院間で初の遠隔手術支援の実証に成功(2月)
AI		- 生成AIが企業の技術力と生活者の声を掛け合わせて新商品アイデアを生み出すサービス「架空商品モール」を提供開始(12月) (株)アジラとの業務提携に基づき商業施設の事件・事故を未然防止するクラウド型異常検知AIサービスを提供開始(3月) - 自社利用のノウハウと利活用支援を強みとしたNTT東日本初の生成AIサービスを提供開始(25年4月)
防災 スマートインフラ		- 中小規模自治体向けに「地域防災支援システム powered by EYE-BOUSAI」を提供開始(7月) - 通信用光ファイバを用いたセンシング技術による地中空洞検知プロジェクトを始動(2月) - 地域防災モデルの研究や社会実装に専断的に取り組む「防災研究所」を設置(25年4月) - 防災科研との自然災害に強い持続可能な社会の実現に係る連携協定を締結(25年4月)
その他	ローカル5G	三井不動産(株)と「東京ミッドタウン八重洲」におけるローカル5Gを活用したデジタルツインの実証を開始(1月)
	循環型社会 づくり	- 長野県小布施町・東京大学との産学官連携協定を締結(8月) - キャンプ・まちづくり分野におけるフィールドDX事業の新会社「NTT Landscape」を設立(11月)
	アグリ	- 農業総合研究所とNTTアグリテクノロジーによる資本業務提携契約の締結(9月) - 台湾国立宜蘭大学、ThroughTek Co., Ltd.、NTTアグリテクノロジーによる遠隔営農支援システムの実証を開始(25年4月)
	教育	eスポーツを通して社会で活躍できる力を育む通信制サポート校「NTTe-Sports高等学院」を千葉県千葉市で開校(25年4月)
	グローバル	インドネシアでの低価格帯FTTHサービス事業の拡大に向けたSURGEグループ(Weave社)への戦略的出資を公表(25年4月)



新社名：NTT東日本株式会社（2025年7月1日～）